

佐久環境衛生組合下水道ストックマネジメント計画について

■ 下水道におけるストックマネジメントの定義

下水道事業におけるストックマネジメントとは、下水道事業の役割を踏まえ、持続可能な下水道事業の実現を目的に、明確な目標を定め、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状態を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理することをいいます。

■ ストックマネジメントの目的

ストックマネジメントは、長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕・改築を実施し、施設全体を対象とした施設管理を最適化することを目的としています。

■ 佐久環境衛生組合ストックマネジメント計画について

下水道の終末処理施設となる南佐久浄化センターでは、年数の経過による設備の機能低下や故障等のリスクから平成23年度に長寿命化計画、平成29年度には第1期ストックマネジメント計画を策定しています。

佐久環境衛生組合管内の下水道施設は、平成12年度に一部が供用開始されたことから、施設は比較的新しいものの、今後、改修更新の時期を迎える、下水道資産の老朽化問題が顕在化していくことが予想されます。

こうした点を踏まえ、令和7年(2025年)10月に、この第1期ストックマネジメント計画を変更し、令和8年度(2026年度)から令和12年度(2030年度)の5か年を計画期間とする「佐久環境衛生組合下水道ストックマネジメント計画(第2期)」を策定しました。

この計画の実施にあたっては、下水道施設のリスク評価を踏まえ、施設管理の目標(アウトカム、アウトプット)および長期的な改築事業のシナリオを設定し、点検・調査計画および修繕、改築を実施していきます。

また、これらの計画を実施し、結果を評価、見直しを行うとともに、施設情報を蓄積し、ストックマネジメントの精度向上を図っていきます。